

北里大学病院・旧北里大学東病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	脳底動脈閉塞症における発症時の重症度と再灌流療法後の予後についての単施設後方視的研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部脳神経内科学 講師 阿久津二夫
他の研究機関および各施設の研究責任者	他の研究機関はありません
本研究の概要・背景・目的	脳底動脈閉塞症は脳梗塞のなかでも重症な病態です。近年、カテーテルを用いた血栓回収療法や t-PA という血栓を溶かす薬剤により脳底動脈閉塞症も治療が可能となってきました。しかし、未だ重篤な後遺症を残す方も半数以上おられ、予後の良い方と悪い方の違いを検討し、治療法(再灌流療法)の改善に努めることを目的として行う研究です。
調査データ 該当期間	2014年3月1日から2023年9月30日までのデータを利用します
対象となる患者さん	上記期間内に脳底動脈閉塞症にて入院し、再灌流療法を受けた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2014年3月1日から2023年9月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データ・画像データ・生理機能検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は医学部脳神経内科学の一般研究費の一部を利用します。 本研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下

記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位: 北里大学医学部 脳神経内科学

担当者: 阿久津二夫 (アクツツギオ)

電話: 042-778-8136 (脳神経内科学研究室)

備考